

fiaf

国際フィルム・アーカイブ連盟=FIAFは
映画の保存を目的とする国際団体です。
福岡市総合図書館はFIAFの会員です。

11
No.110

シネ・ラ

香港合作映画の黎明 特別企画



宝田明、尤敏(ユー・ミン)主演による
「香港三部作」を中心に上映



文化庁日本映画上映支援事業

特別企画

テオ・アンゲロプロス監督映画祭



森の中の風景



シテール島への船出



旅芸人の記録

Ciné-là

特別企画

香港合作映画の黎明

一宝田明、尤敏(ユー・ミン)主演による「香港三部作」を中心に

日本と香港の映画合作の足取りを、「香港三部作」を中心に上映。

また同時期の香港映画として、西本正カーマンによる三作品を上映

11月2日(水)~13日(日) *休館日・休映日除く

観覧料:600円(大人)500円(大学生・高校生)400円(中学生・小学生)

支援:文化庁

*定員制・各回入替制 *「宝田明シネマトーク」以外のチケットはすべて当日券のみ。

*障がい者及び福岡市在住の65歳以上の方は300円。(手帳の呈示が必要です。)

*「ねんりんピック ふくおか」IDカード持参の方は500円



楊貴妃

おすすめ 香港の星



1962年/35ミリ/カラー/108分/東宝=MP&GI(キャセイ)

監督:千葉泰樹

出演:宝田明、尤敏

•11月2日(水)14:00
•11月12日(土)14:00

日本の宝田明と香港の尤敏が共演する香港三部作の第二作目がこの「香港の星」です。香港三部作はそれぞれ独立して完結したストーリーで、一作ごとに作品としてのつながりはなく、共通点は宝田明と尤敏が演じる二人が香港、日本、東南アジアなどを舞台にラブ・ロマンスが繰り広げられるところです。今回は宝田明が海外を飛び回る商社マン、尤敏が香港で難民医療に携わる医者の娘で、日本で医学を学ぶ医学生役を演じ、舞台も東京、香港だけでなく、北海道やシンガポールなども登場し、まだまだ海外旅行が珍しかった時代に観客達に夢を与えていました。しかしこの作品の本当の魅力はやはり、宝田明と尤敏という主演の二人の魅力でしょう。すでにスターとしてその名を知られていた宝田明はもちろんのこと、当時

の香港映画界においてはすでに人気の絶頂期にあった尤敏は、上品で知的ですが芯のしっかりしたイメージがあり、当時の日本映画にはあまりいないタイプの魅力をもった女優でした。香港三部作が製作されるまでは彼女は、日本ではまったく無名でしたが、第一作で一躍注目を集め、この作品のときにはすでにVIPクラスの厚遇を受けていたそうです。

商社マンの長谷川は、香港で偶然に日本で医学を学んでいる星と知り合います。彼女は父親の知人の杉木の家に下宿していて、杉木の娘で仲のよい可那子と二人でモデルのバイトをかねて北海道に行くことになります。そこで星家に帰省中だった長谷川と再会します。東京に戻った二人は互いに惹かれあうようになり、交際を始めますが…。

楊貴妃 •11月5日(土)14:00
•11月10日(木)14:00



1955年/35ミリ
カラー/96分
大映=ショウ・プラザース
監督:溝口健二
出演:京マチ子、森雅之

白夫人の妖恋 •11月5日(土)11:00
•11月10日(木)19:00



1956年/35ミリ
カラー/103分
東宝=ショウ・プラザース
監督:豊田四郎
出演:池部良、山口淑子

香港の夜 •11月3日(木・祝)15:10
•11月12日(土)11:00



1961年/35ミリ
カラー/118分
東宝=MP&GI(キャセイ)
監督:千葉泰樹
出演:宝田明、尤敏

ホノルル東京-香港 •11月3日(木・祝)11:00
•11月12日(土)17:00



1963年/35ミリ
カラー/102分
監督:千葉泰樹
出演:宝田明、尤敏

すでに世界的な名声を獲得していた溝口が、日本でも有名な「楊貴妃」の半生を描いた日本と香港合作による歴史大作映画。溝口にとっては初の国際的コラボレーションであり、また最初のカラー作品である。なお共同脚本や、美術考証に香港側スタッフが参加している。

香港の白い薔薇 •11月4日(金)14:00
•11月13日(日)11:00



1965年/35ミリ
カラー/110分
東宝=MP&GI(キャセイ)
=台湾省電影製片
監督:福田純
出演:山崎努、
張美理(チャン・メイヨー)、
宝田明

ならず者 •11月11日(金)19:00
•11月13日(日)14:00



1964年/35ミリ
カラー/98分/東映
監督:石井輝男
出演:高倉健、丹波哲郎

梁山伯と祝英台 •11月6日(日)14:00
•11月11日(金)14:00



1963年/35ミリ
カラー/129分
ショウ・プラザース
監督:李翰祥
撮影:賀蘭山(西本正)
出演:凌波、樂蒂

大醉侠 •11月4日(金)19:00
•11月6日(日)11:00



1966年/35ミリ
カラー/91分
ショウ・プラザース
監督:キン・フー
撮影:賀蘭山(西本正)
出演:岳華、鄭佩佩

尤敏の引退を受け、主役に山崎努と台湾の女優・張美瑠を迎えて製作された作品。原案は橋本忍で、山崎が麻薬捜査官を、張美瑠が香港の財閥令嬢を演じサスペンス・ラブ・ロマンス映画。



宝田明シネマトーク

「宝田 明 大いに語る」 11月3日(木・祝) 14:00~15:00

※講演は有料で、15:10からの「香港の夜」とセット料金で1,000円(前売り800円)前売りは10月1日より発売
※宝田明シネマトークの高齢者及び障害者割引なし。開場は開演の30分前。

宝田 明 プロフィール

53年東宝第6期生として「かくて自由の鐘は鳴る」(54年)でデビュー。「放浪記」(62年)などの文学作品のほか、東宝・MP&GI(キャセイ)合作映画「香港の夜」(61年)「香港の星」(62年)「ホノルル-東京-香港」(63年)の「香港三部作」に主演。「ミンバーの女」(92年)など、映画出演本数200本を数える。また、64年の「アニー・よ銘とれ」をはじめ、「風と共に去りぬ」など、多くのミュージカルに出演し、芸術祭奨励賞、ゴールデンアロー賞などを受賞。日本で数少ないミュージカルの主演男優として不動の地位を築く。04年にはプロードウェイミュージカル「34丁目の奇跡」クリス役に出演。05年12月に再演される。現在、映画、舞台、テレビで幅広く活躍している。

香港ノクターン •11月5日(土)17:00
•11月9日(水)14:00



1967年/35ミリ
カラー/127分
ショウ・プラザース
監督:井上梅次
撮影:賀蘭山(西本正)
音楽:脇部良一
出演:鄭佩佩、何莉莉、廟萍

1960年代後半多くの日本人監督が香港に招聘されたが、その中でももっとも活躍したのが井上梅次監督。彼がはじめて香港に渡った際に手掛けたミュージカル映画で、香港だけでなく、東南アジアなどでも大ヒットした。

テオ・アンゲロプロス監督

映画祭

ギリシャの世界的巨匠

テオ・アンゲロプロス監督作品の代表作を、
最新作「エレニの旅」を含め上映。

特別企画

11月16日(水)~26日(土)

*休館日・休映日除く

観覧料: 1,000円(大人) 800円(大学生・高校生)

600円(中学生・小学生) 2,500円(3回券)

全作品配給: フランス映画社

全作品日本語字幕: 池澤夏樹

*定員制・各回入替制

*チケットはすべて当日券。前売り券はありません。

*障がい者の方、福岡市在住の65歳以上の方は500円。

(手帳の表示が必要です。)

*3回券は高齢者・障がい者割引なし。

*全作品上映の途中休憩なし。



エレニの旅

狩人

The Hunters

•11月16日(水) 18:30
•11月23日(水・祝) 11:00



1977年/35ミリ
カラー/172分
ギリシャ=フランス=イタリア/日本語字幕付き
監督: テオ・アンゲロプロス
出演: ヴァンゲリス・カザンベティ・ヴァラシ

1976年雪山で不思議な死体が発見される。この死体を巡って老政治家や軍人達の回想と証言が描かれていく。過去と現在、虚構と現実を交差させ、ギリシャ現代史を24時間の出来事の中に凝縮するという途方もない作品。徹底したワン・シーン、ワン・カット撮影が行われており、すべてのシーンが巨大な壁画のようである。

蜂の旅人

The Bee-keeper

•11月19日(土) 14:00
•11月24日(木) 18:30



1986年/35ミリ
カラー/122分
ギリシャ=フランス=イタリア/日本語字幕付き
監督: テオ・アンゲロプロス
出演: マルチロ・マストロヤニ ナディア・ムルージ

小学校教師スピロは、突然辞職し、蜜蜂を連れて一人旅にでる。かつて内戦時代の闘士だったスピロは生きる目的を失っていたのだ。旅の途中彼は自由奔放な少女と出会い、一緒に旅を続けていく。過去にとらわれるスピロと何者にもとらわれない少女、二つの世代の愛が鮮烈に描かれた作品。イタリアの名優マストロヤニの主演も話題となった。

ユリシーズの瞳

Ulysses gaze

•11月18日(金) 14:00
•11月26日(土) 17:00



1995年/35ミリ
カラー/177分
ギリシャ=フランス=イタリア/日本語字幕付き
監督: テオ・アンゲロプロス
出演: ハーヴェイ・カイル マヤ・モルゲンステイン

アメリカから35年ぶりにギリシャに帰郷した映画監督は、自分が最初に撮った映画を探して旅にでる。ギリシャのテサロニキから、アルバニア、ルーマニア、セルビアへと彼の旅は続く。映画100年の歴史と20世紀ヨーロッパの歴史を壮大なスケールで描いた本作は「新しい大傑作」と評価され、95年カンヌ映画祭グランプリ等を受賞。

アレクサンダー大王

Megalexandros

•11月17日(木) 14:00
•11月23日(水・祝) 14:30



1980年/35ミリ
カラー/208分
ギリシャ=イタリア=西ドイツ/日本語字幕付き
監督: テオ・アンゲロプロス
出演: オメロ・アントヌッティ エヴァ・コタマニドウ

1989年、北ギリシャの刑務所から20数名の盗賊団が脱獄する。盗賊の首領は「アレクサンダー大王」と呼ばれていた。盗賊団はイギリス人貴族を誘拐し、政府に対して恩赦を要求する。古代の英雄が現代に蘇ったかのような錯覚を覚える盗賊団。史実をおりませんながら、19世紀~20世紀初頭のギリシャを描いた大作で、80年ヴェネチア映画祭グランプリ等を受賞。

霧の中の風景

Landscape in the mist

•11月19日(土) 17:00
•11月25日(金) 18:30



1988年/35ミリ
カラー/125分
ギリシャ=フランス/日本語字幕付き
監督: テオ・アンゲロプロス
出演: ミカリス・ゼーケ タニア・パライオログウ

11才の姉ヴーラと5才の弟アレクサンドロス、二人はドイツに住んでいるというまだ顔も知らない父親を探す旅にでる。旅の中で幼い二人は様々な人と出会い人生を学んでいく。本作は過去のアンゲロプロス作品のような政治色が薄い。実話を基にしたという物語だが、まるで童話のような美しい映像美を見せる作品。88年ヴェネチア映画祭最優秀監督賞等を受賞。

永遠と一日

Eternity and a day

•11月24日(木) 14:00
•11月26日(土) 14:00



1998年/35ミリ
カラー/134分
ギリシャ=フランス=イタリア/日本語字幕付き
監督: テオ・アンゲロプロス
出演: ブルーノ・ガッツィ イザベル・ルノ

詩人のアレクサンドロスは不治の病となり、最後の日が近いことを自覚していた。彼は、別れのために娘に妻からの手紙の束を渡す。そして彼は少年の日から、30年前の娘の誕生日など、夢のような記憶の旅に出る。主演のブルーノ・ガッツィは「ベルリン・天使の詩」以来の代表作と絶賛され、98年カンヌ映画祭パルム・ドールを受賞した傑作。

旅芸人の記録

The Travelling Players

•11月16日(水) 14:00

•11月20日(日) 14:30



1975年/35ミリ
カラー/232分
ギリシャ/日本語字幕付き
監督: テオ・アンゲロプロス
出演: エヴァ・コタマニドウ ペトロス・ザルカディス

南ギリシャの小さな町を中心に、10数名の団員を持つある旅芸人一座の1939年から1952年までの物語を描いた作品。第二次大戦から独裁政権誕生まで、激動する時代に翻弄される人々を圧倒的な映像美で描いた一大叙事詩で、アンゲロプロス監督は一躍国際的に知られることになる。75年カンヌ映画祭批評家大賞。

シテール島への船出

Voyage to Cythera

•11月17日(木) 18:30
•11月19日(土) 11:00



1984年/35ミリ
カラー/140分
ギリシャ/日本語字幕付き
監督: テオ・アンゲロプロス
出演: ジュリオ・ブロージ マノス・カトラキス

次回作の主演俳優を探す映画監督は、カフェでラベンダー売りの老人と出会う。社会主義体制となった当時のギリシャと、ナチス占領下の内戦時代のギリシャ、映画の中で二つのドラマが進行し見る者を魅了する。脚本はフェリーニ作品等で有名なトニーノ・ゲウラで、84年カンヌ映画祭最優秀脚本賞等を受賞。

こうのとり、たちすさんで

The Suspended step of the stork

•11月18日(金) 18:30
•11月26日(土) 11:00



1991年/35ミリ
カラー/142分
ギリシャ=フランス=スイス=イタリア/日本語字幕付き
監督: テオ・アンゲロプロス
出演: マルチロ・マストロヤニ ジャンヌ・モロー

TVレポーターのアレクサンドロスは、多くの難民が集まる北ギリシャの国境の町で取材を行う。彼はそこで十数年前に謎の失踪をとげた政治家を見つける。彼は密かにカメラを回しながら、本人かどうか確認をとろうとするのだが…。ヨーロッパを代表する名優マストロヤニとジャンヌ・モローの共演はなんと30年ぶり。全編圧倒されるような映像美の連続で、ヨーロッパ各地でヒットした作品。

エレニの旅

Trilogy: The Weeping Meadow

•11月20日(日) 11:00
•11月25日(金) 14:00



2004年/35ミリ
カラー/170分
ギリシャ=フランス=イタリア=ドイツ/日本語字幕付き
監督: テオ・アンゲロプロス
出演: アレクサン德拉・アイティニ ニコス・ブルサニディス

ロシア革命のため、ギリシャに逃亡した難民として帰郷していくギリシャ人たち。その中に孤児エレニがいた。彼女はスピロ一家の養女として育つが、スピロに求婚され、息子と共に家を出るのだった。1919年から49年までの激動の歴史を生き抜く女性エレニの物語だが、本作はアンゲロプロス監督が「永遠と一日」完成後に亡くなった彼の母親へのオマージュとして制作した作品である。

11月

上映スケジュール

1 火
2 水
3 木(祝)
4 金
5 土
6 日
7 月
8 火
9 水
10 木
11 金
12 土
13 日
14 月
15 火
16 水
17 木
18 金
19 土
20 日
21 月
22 火
23 水(祝)
24 木
25 金
26 土
27 日
28 月
29 火
30 水

香港合作映画の黎明

テオ・アンゲロプロス監督映画祭

次号予告

特別企画
成瀬巳喜男監督映画祭 第一部

生誕100年を記念して行われる巡回上映を誘致

12月1日(木)~18日(日)

●上映作品「噂の娘」(1935年)、「流れる」(1956年)、「乱れ雲」(1967年)ほか11本

I N F O R M A S I O N

■ホームページ「うえぶシネラ」をご覧ください。
●うえぶシネラアドレス <http://www.cinela.com>

■ビデオ編集技術研修室のご案内

ビデオ研修室では、家庭で撮影されたビデオ(Hi8・DV)や各行事の記録ビデオの編集などに利用できます。(使用料1時間500円、連続使用3時間迄)

*詳しくは福岡市総合図書館映像資料課まで

■自主上映のお知らせ

11月27日(日)福岡映画サークル2005第6回例会

●海女のリヤンさん [11:00] [14:00]

観覧料/前売:1,200円 当日:1,400円 シニア:1,000円

主催/福岡映画サークル協議会(TEL 092-781-2817)

*詳細については、直接主催者にお問い合わせください。

■公共交通機関ご利用のお願い

駐車場は図書館利用者の共用であり、映像ホール専用の駐車場はありません。駐車スペースに限りがあり、常時混雑しておりますので、長時間の駐車はご遠慮いただいております。できるだけ公共交通機関のご利用をお願いいたします。土日祝日のご利用や1日に複数回の映画をご覧いただく場合などは、特にご協力いただきますようお願いいたします。

休館日

[14:00] 香港の星

[11:00] ホノルルー東京-香港 [14:00] 宝田明シネマトーク [15:10] 香港の夜

[14:00] 香港の白い薔薇 [19:00] 大醉俠

[11:00] 白夫人の妖恋 [14:00] 楊貴妃 [17:00] 香港ノクターン

[11:00] 大醉俠 [14:00] 梁山伯と祝英台

休館日

休映日

[14:00] 香港ノクターン

[14:00] 楊貴妃 [19:00] 白夫人の妖恋

[14:00] 梁山伯と祝英台 [19:00] ならず者

[11:00] 香港の夜 [14:00] 香港の星 [17:00] ホノルルー東京-香港

[11:00] 香港の白い薔薇 [14:00] ならず者

休館日

休映日

[14:00] 旅芸人の記録 [18:30] 狩人

[14:00] アレクサンダー大王 [18:30] シテール島への船出

[14:00] ユリシーズの瞳 [18:30] こうのとり、たちすさんで

[11:00] シテール島への船出 [14:00] 蜂の旅人 [17:00] 霧の中の風景

[11:00] エレニの旅 [14:30] 旅芸人の記録

休館日

休映日

[11:00] 狩人 [14:30] アレクサンダー大王

[14:00] 永遠と一日 [18:30] 蜂の旅人

[14:00] エレニの旅 [18:30] 霧の中の風景

[11:00] こうのとり、たちすさんで [14:00] 永遠と一日 [17:00] ユリシーズの瞳

自主上映【福岡映画サークル2005第6回例会】

休館日

休映日

休館日

休館日

休館日

休館日



白夫人の妖恋



大醉俠

[14:00] 旅芸人の記録 [18:30] 狩人
[14:00] アレクサンダー大王 [18:30] シテール島への船出
[14:00] ユリシーズの瞳 [18:30] こうのとり、たちすさんで

[11:00] シテール島への船出 [14:00] 蜂の旅人 [17:00] 霧の中の風景
[11:00] エレニの旅 [14:30] 旅芸人の記録



[11:00] 狩人 [14:30] アレクサンダー大王
[14:00] 永遠と一日 [18:30] 蜂の旅人
[14:00] エレニの旅 [18:30] 霧の中の風景

[11:00] こうのとり、たちすさんで [14:00] 永遠と一日 [17:00] ユリシーズの瞳



浮雲

香港=日本
映画交流と撮影所

香港で戦後最初に建設された近代的で本格的な撮影所は、設立されたばかりの映画会社、永華のスタジオとして1948年、九龍半島に建設されました。その後財政難に陥った永華を資金援助し、1956年に撮影所と共に永華に建設されました。独立系や中小プロダクションが乱立していた香港にはじめて製作から興行まで一元化された映画会社を作ったのがシンガポールを拠点とする華僑系の財閥であるキャセイ・オーガニゼーションです。キャセイが設立したMP&GIは都会的作品、なかでもライト・コメディやミュージカルなどを得意とし、香港映画に一世代を築いています。この頃、東宝とMP&GIの合作で作られたのが「香港の夜」を第一作とする「香港三部作」です。

キャセイの進出に対抗して、1958年、シンガポールを拠点とし、香港映画の配給や興行なども手掛けていたショウ・ブラザースもまた総帥であるランラン・ショウが自ら乗り込み、ショウ・ブラザース(HK)を設立します。ランラン・ショウはショウ・ブラザース(HK)設立以前から香港映画の配給だけでなく、製作や日本映画との提携などにも関心が高く、大映の永田雅一と共に東南アジア映画祭(のちのアジア太平洋映画祭)の発起人となり、またカメラマンの西本正や李香蘭(山口淑子)を香港へ招聘、大映や東宝との合作映画なども手掛けています。設立されたばかりのショウ・ブラザース(HK)はすぐさま本格的な撮影所建設に着手、1961年に香港のクリア・ウォーター・ベイに巨大なショウ・スタジオが完成します。日本から二度目の招聘をうけ、以後香港で活躍を続けることになった西本正や1960年代後半に日本から招聘され、香港映画を監督した井上梅次なども、この撮影所の敷地内にあった宿舎で暮らしたそうです。

こうしてキャセイとショウ・ブラザース(HK)は香港映画界の二大勢力として激しい競争を繰り返しますが、キャセイは主要監督の引き抜き、尤敵など看板女優の相次ぐ引退などで次第に劣勢を強いられます。そして1964年、キャセイの総帥、陸運満以下重役57名が飛行機事故で死亡、この事故で勢いを失ったキャセイは1971年について映画製作から撤退、前年にショウ・ブラザースを辞めたプロデューサーのレイモンド・チョウが興したゴールデン・ハーベストに撮影所を売却します。そしてこの年、ゴールデン・ハーベストから香港映画の歴史を塗り替え、世界の映画史に名を残す大スターが登場します。ブルース・リーの登場です。ブルース・リーは主演第一作、1971年の「ドラゴン危機一髪」で一躍、香港を代表するスターとなり、ハリウッドとの合作映画「燃えよドラゴン」によって全世界にカンフー・ブームを巻き起こします。彼の出現によって香港映画は世界的な注目を集めようになります。

■交通アクセス

当館の駐車場スペースに限りがありますので、できるだけ公共交通機関をご利用ください。

地下鉄: 西新駅または藤崎駅から徒歩15分

西鉄バス: *天神→都市高速経由→福岡タワー南口(所要時間: 昼間で約20分) *博多駅→都市高速経由→福岡タワー南口(所要時間: 昼間で約25分) 福岡タワー南口バス停から徒歩3分。いずれも、昼間は10~15分間隔で運行されていますので、大変便利です。お近くのバス停からのご利用につきましては、西日本鉄道テレホンセンター(電話 733-3333)に直接お問い合わせください。

福岡市総合図書館
映像ホール・シネラ

〒814-0001

福岡市早良区百道浜3丁目7番1号

福岡市総合図書館

(代表) 092(852)0600

映像資料課 092(852)0608

FAX 092(852)0609

福岡市総合図書館 映像ホール・シネラ

ホームページアドレス

<http://www.cinela.com>